

分科会 感想

自分の価値観で
子どもに接するのは
危険

先生や保護者の方、様々なキャリアを持つ方の経験談やお話を聞く中で、本当に様々な生きづらさを抱える子どもがいることを学びました。

「学校に来なきゃいけない」「不登校の子にはこのような対応をすることが必要」と、自分の中で形成されてきた価値観に対応で子どもたちに接してしまうことは危険なことだと、改めて感じました。すごく大切な気づきがてきた分科会でした。(学生・山梨)

分科会の人数

全国からこぼすされている方の話を聞き大変良かったです。

分科会
少し人数が99過ぎたでは? (・兵庫)

⑧A 居場所

大人にも居場所が必要

こどもたちの居場所も大切だけど大人(保護者・教員・フリースクール等)の大人たちにも居場所が必要なよね~というつぶやきが耳に入ってきた。ああ、それが私の求めている居場所かも...と感じてしまいました。
(母・京都)



フレッシャーに ならないくらいで

やり方やこだわらなくていいのも、困っている当事者に。心配してる心遣したいと思っている人がこんなにたくさんいるよということを伝わると良いなと思います。フレッシャーにならないくらいで。
(・)



⑥ 青(成)年期

やっぱり来て良かった

やっぱり来てよかったと思いました。気持ちが新たになります。青(成)年期についている息子に対して、親として解決出来ない気持ちの処理方法を教えてもらいました。(父母・滋賀)

心がすっと軽くなった

皆さんの話を聞いて、心の重みがすっと軽くなったように思います。特に息子がゲームやパソコンを毎日やっていることを、どうだけハワーみるからであるとのお話を伺い、ずっともやもやしていたことが、霧が晴れたようです。
(父母・相談員・京都)

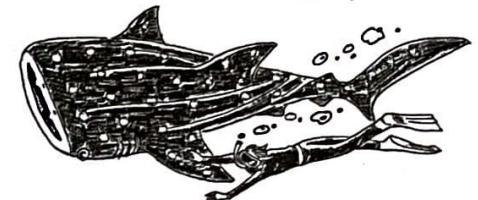


息子の幸せを祈りつつ

セキララに話されたことがすこく勉強になりました。意見をきて自分の息子と重ねあわせてきました。親が楽しく人生を生きること、本当に自分にあり、大切にしていきたいです。息子の幸せを祈りつつ。
(父母・奈良)

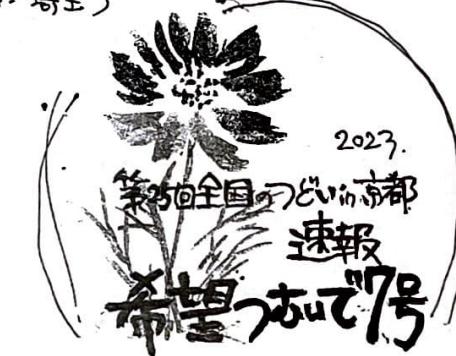
けんめいに生きる若者にエールを送りたい

高垣先生のお話を重ねながら自己紹介をしました。"今"は流動的であり、今の社会のしさととともに受けながらけんめいに生きる若者にエールを送りたい。経済的な基盤が必要です。娘も一人暮らしをしたいと言うけれど、お金もなく、どうだけ働くこともムリ。どうしたら診断書をかいでもらい、障害年金申請こんでいくと、ダメでした。
(・)



次男を改めて誇りに思う

高垣先生がおっしゃる「自分が自分であってよい」ということと命をかけて示していってくれた次男を改めて誇りに思っています。
(父母・埼玉)



2023.

第4回全国のつどい㏌京都

速報

希望つとめて7号

分科会 感想



⑦A 進路・自立

まだまた話を聞きたい....

もう時間、明日もまた来ます。

明日が楽しみ.....

自分の気持ちを話せて

今の自分の気持ちを話せてよかったです。参加者の皆さんのお話を聞いてよかったです。やっぱり「声」に表すということは、大切なんだと思いますと思いました。初めて参加しましたがよかったです。

(父母・和歌山)

⑦B 進路・自立

自分の子供への思いが深まった

久しぶりの分科会に出られ、色々なお話を聞いて、自分の子供への思いが深まったと思いました。これからも子供の気持ちによりそっていけれどと思います。(父母・東京)

30年続いてきた理由が....

「受容するってむずかしい」という発言がありました。つどいに参加して、出会いがあり、気づきがあり、わかつて来たと話してくれた方がいました。この会が30年続んできた理由がわかったような気がします。(研究者・京都)

本人のこだわりにつき合うとは?

自立とは? 本人のこだわりにつき合うとは? など、話せて良かったです。やはり、当事者の青年K君の発言はとても孫とのつき合い方に参考になりました。(. 京都)

進行役の皆様、ありがとう!

上から目線のようすみません!!
安心して居させて貰っています。
進行役の皆様 すばらしいです。
(. 神奈川)



⑦C 進路・自立

やがて変化していく

いろんな経験を通じて成長自立していく事が参考になりました。現状では、どうなるか不明だが、やがて変化していくくれるのではないかと希望になりました。(父母・大阪)



思いがけず豊かな人生経験を

お父様の不登校やひきこもりで思いがけず、豊かな人生を経験することになりましたというお父さんやお母さんの人生をお聞きすることができました。(.)

懐かしい雰囲気

11年ぶりのつどいでした。とても懐かしい雰囲気でした。ここに戻ってこられて良かったです。明日が楽しみです。(. 京都)

語り合える場を作りたい

現在高校生の息子が小学へ中学時代不登校で苦しまました。ひとり親家庭の限界、たいへんさ、社会の支えの不在 孤立二重、三重と親子で苦しみ乗り越えてきて、京都市の清明高校に出会いました。子どもたち一人一人を尊重して下さる学校に親子ともに命をふき返しました。今、不登校にあるご家庭や当事者のために語り合える場を作りたいと思って参りました。(父母・京都)

